

富山大学人文学部富山循環型「人文知」研究プロジェクト公開研究交流会

第20回「人文知」コレギウム

～日本語の世界～

2020年11月18日（水）13:30-15:30

中井精一（東アジア言語文化コース教授）

「南米日系人の日本語と日本文化－世代間継承に注目して－」

本発表では、ブラジル富山県人会および各移住地で実施した聞き取り調査をもとに、日系人社会が共有し受け継いできた伝統文化や習慣、言語生活や方言について報告する。とともに、調査から見えてきた南米日系人社会における日本語および日本文化の継承とその意義について考えてみたいと思う。

樋野幸男（言語学コース教授）

「ミンナ解ケテル準体方程式から、ある種の主節動詞に起因する準体構造の形式化」

日本語では、文の中に文を埋め込むと《準体》を形成する。[太郎ガ遊ンデイタ]を[花子ガ[ソレ]ヲ見タ]に埋め込むと「花子は太郎が遊んでいるのを見た。」となる。本報告は、準体構造を概観して問題点を指摘し、樋野が主張する事象準体・属性準体につづく第3の準体を、従来の《主要部内在型関係節》から新たな理解へ転換する。

オンラインZOOM開催（**要事前申込**）

下記URLからお申し込みください。

後日、登録されたメールアドレスに詳細をお送りします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfKLi7d01_ojXDGD1JBnjjMM1Cxyjh54vQ90DmWTdhlyeyqQ/viewform?vc=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link

申込締切: 2020年11月15日（日）

学生・一般の方の聴講歓迎。無料。

お問い合わせ 富山大学人社系総務課（人文担当） jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp